



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
RI会長 シェカール・メータ

2021-2022年度



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 魚谷 幸司 幹事 宇恵 久視 SAA 楠部 均

第 2097 回例会

2022年5月22日(日)

家族例会

劇場型アクアリウム・アトア

中華街 神戸ワイナリー



1. 開会点鐘
2. ゲスト紹介 会員の旦那様、奥様、ご家族
3. 出席報告
会員総数 41名 出席者数 18名
ご家族 12名
出席義務規定適用免除会員 1名
出席率 61.15% 前回修正出席率 74.36%

4. 会長スピーチ 会長 魚谷 幸司 君

皆様こんにちは。本日は家族例会となります。

アトアは楽しんでいただけましたでしょうか？

おいしい食事の前に長話は控えますが、我々が普段よりロータリー活動に勤しめるのはご家族の理解があってこそだと思っております。本日の会はご家族の皆様方が主役でございます。奥様方におかれましては普段ご主人に偉そうにされている分、本日は逆の立場に立ち、大いに楽しんでいただきたいと思っております。普段より奥様が優位に立っているご夫婦がいらっしゃるのであれば、そのままの立場で楽しんでいただきたいと思っております。女性会員の山畑さんにおかれましては普段からきっちりご主人に尽くされていると思っておりますが、ご主人様、少し羽目を外して頂き楽しんでいただけたらと思っております。

残り半日となりましたが、和気あいあいとやっていきましょう。

5. 家族会の様子

○劇場型アクアリウム・アトア

神戸ポートミュージアム"átoa (アトア)"は、アクアリウムを核に、舞台美術やデジタルアートが融合する劇場型アクアリウム。

○中華街での例会 (昼食)



○神戸ワイナリー



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

事務所 〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>
E-mail : info@kainaneast-rc.jp

6. 閉会点鐘

【次回例会】

5月30日(月) 12:30~

海南商工会議所 4F

会員卓話 社会奉仕委員長 奥 喜全 君

「地区クラブ社会奉仕委員長会議の報告」

Rotary NEWS

国連の誕生とロータリー

5月29日は、国連平和部隊要員の国際デー(International Day of UN Peacekeepers)です。今年のテーマは、「パートナーシップの力」に焦点を当てています。国連とロータリーは長い歴史があります。

ロータリーと国連は、世界各地での平和活動や人道的問題への取り組みにおいて共に歴史を歩んできました。

はじめは第二次世界大戦中にまでさかのぼります。国連がまだ正式に設立されていないこの頃、ロータリーは既に会員に、国連の設立計画に関する情報を提供し、平和に向けた準備の必要性を唱えていました。会員は、冊子『From Here On!』や『The Rotarian』誌の記事などを通じて、これから設立される国連についての知識を深め、設立後もその活動に関わっていきました。

「国際連合」という名称が初めて正式に使われたのは、1942年の「連合宣言」でした。当時、多くの国は戦争の真っ只中。この宣言に署名した26カ国は、前年に米国とイギリスが掲げた「世界のよりよい未来に対する希望の礎」となる共通原則の理想への支持を誓いました。

1943年、英国、ソビエト連邦、米国の代表がモスクワで会議を開き、平和と安全維持のための国際機関の創設を訴えました。

その翌年には、前述の国々の代表に中国の代表が加わり、ワシントンD.C.で会議を開催。国際機関の創設という大仕事について協議しました。4カ国の代表によって新機関の構造に関する提案が採択されたこの会議は、「ダンバートン・オークス会議」として知られています。

この会議の後、ロータリーは、『What Can Rotarians Do Following Dumbarton Oaks? (ダンバートン・オークス会議後にロータリアンができるこ

と)』を発行。これには、国連設立案とその論点が記述されているほか、国際理解の推進を目指すロータリーと国連の関係についてクラブ会員がディスカッションをすることが提案されていました。また、終戦前に戦後の計画を立てることの重要性も訴えられていました。

1945年4月から6月にかけて、50カ国の代表が「国際機関に関する連合国会議」(サンフランシスコ会議)に出席するためにサンフランシスコに集結。この会議の目的は、全連合国が承認する憲章を起草することでした。この歴史的な試みにおいて、多くのスタッフ、諮問役、助言役が各国代表を援助しました。

国際ロータリーは、サンフランシスコ会議代表者への助言機関として米国政府から選ばれた42団体のうちの一つでした。各団体に与えられた代表の席は3席。国際ロータリーには11人の代表がいたため、代表は交代で任務に当たりました。ロータリーの正式な代表となった人の中には、事務総長、『The Rotarian』誌編集長、数名の元会長が含まれていました。また、アフリカ、アジア、ヨーロッパ、北米、南米でも国の代表を務めたロータリアンがいたほか、代表者の助言役を務めたロータリアンもいました。

会議の直前、国際ロータリーは、『Pattern for the San Francisco Conference (サンフランシスコ会議の見本)』と題するパンフレットを発行し、会員に配布しました。これには、「世界政府の構想に関する話し合いへの参加」が「個々のロータリアンにとって国際奉仕の目的を果たす素晴らしい機会である」と記されています。

国連設立後、95ページに渡る冊子『From Here On!』が発行されました。この冊子には、国連憲章の抜粋が見開きページの片側に、またその反対側のページには注釈や討論を促す問いが印刷されていました。このようなレイアウトにより、ロータリアンは国連憲章について学びながらクラブで討論することができました。この冊子には、世界中の「自由な国民」が国連憲章に息を吹き込んで始めて、憲章の効力が発揮される、と説かれています。また、「冊子を忠実に読んだロータリアンは、奉仕の道を確実にたどるであろう」と書かれています。

1946年にロータリーは、同年1月と2月に開催された国連総会での主な成果をまとめた補足資料を発行。その後も会員は、『The Rotarian』誌の記事を通じて国連とその活動を見守ってきました。

今日ロータリーは、国連の特別機関の多数を監督する国連経済社会理事会により、非政府組織として最高の位の諮問資格を与えられています。国連の各種機関やプログラム、各委員会や各局との関係を維持し深めているのが「ロータリー代表ネットワーク」です。このグループは、国連やその他の機関への国際ロータリー代表で構成されています。

5月は「青少年奉仕月間」です